

平成30年第1回臨時会

企画産業常任委員会
会 議 録

期日：平成30年1月31日（水）

場所：議会応接室

大仙市議会企画産業常任委員会会議録

日 時 平成30年1月31日（水曜日） 午前10時20分 ～ 午前10時34分

会 場 議会応接室

出席議員（6人）

6番 秩父博樹	8番 富岡喜芳	12番 小山緑郎
17番 児玉裕一	25番 鎌田正	27番 橋村誠

欠席議員（1人）

21番 渡邊秀俊

説明のため出席した者

企画部長 五十嵐秀美	次長兼まちづくり課長 高橋正人
まちづくり課参事 田口美和子	

議会事務局職員出席者

主席主査	佐藤和人
------	------

審査案件

- 1 議案第3号 平成29年度大仙市一般会計補正予算（第12号）
 - 2 委員派遣の承認要求について
-

午前10時20分 開 会

○委員長（秩父博樹） おはようございます。

本日は、本会議休憩中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

また、大雪で除雪等事故起きたりしてるようですが、皆さんくれぐれも気をつけて作業していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

只今から、企画産業常任委員会を開会いたします。

○委員長（秩父博樹） 欠席の届出が、21番渡邊秀俊委員よりありますので、ご報告いたします。

それでは、当委員会に付託された事件について、お手元に配付の日程表にしたがって、審査してまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、発言をする際は、委員長の許可を得たあとで、マイクのスイッチを入れてからよろしくお願いいたします。

○委員長（秩父博樹） はじめに、企画部長より挨拶があります。五十嵐企画部長。

○企画部長（五十嵐秀美） 大変お忙しい中、休会中に我々1件のふるさと納税関係の関連経費でありますけれども、補正予算となっております。先ほど総務部長からも若干の説明ありましたけれども、私の方から、9月補正段階でこれ補正しております。9月補正時にも新たな商品を増やしながらかつ実を図ろうとして、9月補正段階で2千万ほどの年度見込みをしたところ、10月、11月、12月中心なんですけれども、ものすごく大幅な寄付がありました。それに伴って、今回返礼品の歳出の部分を補正をしなければいけないという内容になりました。我々当初9月補正でも今までの実績は年度間で約9百万の予定でしたけれども、9月補正で2千万を見込んだところ、私の見込みでいけば3千万ほどに、年度間で3千万ほどの寄付があるという見込みを立てました。そういったところで、今後ともこのふるさと納税の返礼品については、市内の商品を確立しながら国の制度の離脱をしない範囲で、また来年度も図っていきいたいなというところなんですけれども、29年度はこういった状況ですので、なんとか補正のご承認を賜りたいというお願いですので、この後詳細については、高橋次長の方から状況報告させていただきますので、よろしくお願いいたします、簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。

○委員長（秩父博樹） ありがとうございます。

それでは、議案審議に入ります。

議案第3号「平成29年度大仙市一般会計補正予算（第12号）」を議題といたします。

当局の説明を求めます。高橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（高橋正人） それでは、議案第3号「平成29年度大仙市一般会計補

正予算（第12号）」のうち、まちづくり課所管にかかる歳入並びに歳出予算についてご説明申し上げます。

資料No.2 補正予算書の9ページをご覧ください。

併せて、資料No.2-1「主な事業の説明書」の3ページをご覧ください。

歳出2款1項10目13事業「ふるさと納税制度関連経費」につきましては808万5千円の補正であります。

本事業は、ふるさと納税制度の周知と浸透を図り、大仙市を応援してくださる方々から広く寄付を募り、市のPRと寄付金受け入れの増加を目指すものであります。補正を承認いただいた後の寄附の目標値として寄附件数450件、金額で3,000万円と設定しております。

これまでの実績につきましては、PR活動として首都圏ふるさと会総会、首都圏PRイベント等でふるさと納税の紹介などを行っております。また、平成28年度からは専用ポータルサイトへの掲載によるインターネットでの受け付けとクレジットカード決済の導入、返礼品の拡充を行い、平成29年度には専用ポータルサイトの追加と、更なる返礼品の拡充を行っております。

その結果、現在の寄附状況であります。今年度12月末時点で433件、金額としては2,690万4千円となっております。

特に、大手のポータルサイトである「ふるさとチョイス」に掲載したこと、また寄付額1万円からの返礼品送付を含めた返礼品の拡充の効果があったものと考えられます。

問題・課題につきましては、特産品のPR、観光推進の更なる拡充を進めることで寄付金の増加が期待できることから、随時返礼品の内容検討を図る必要があると考えております。

また、首都圏におけるふるさと納税制度のPRにも力を入れていきたいと考えております。

今後の方向性としましては、返礼品を市をPRする一つのツールとして、物産開発や観光推進に結びつく取り組みを進め、更なる大仙市のPR促進と寄付の受け入れ増を目指してまいります。

今回の補正に係る主な内容としては、今年度10月からJTB西日本への委託と、それと連携している「ふるさとチョイス」への掲載やポイント制度の導入、それから「大曲の花火おもてなしツアー」を含めた返礼品の拡充により、納税件数・納税額ともに見

込みを上回ったことから、寄附見込額を3,000万円とし、不足する返礼品等に係る経費の補正をお願いするものであります。

経費の内訳ですが、インターネット受付委託料として77万2千円、クレジットカード決済委託料として8万5千円、返礼品代金として722万8千円となっており、歳出2款1項10目13事業「ふるさと納税制度」関連経費の13節委託料に808万5千円の補正をお願いするものであります。

以上、まちづくり課所管にかかる補正予算についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（秩父博樹） 説明が終了いたしました。これより質疑を行います。

質疑のある方は、どうぞお願いいたします。はい、富岡委員。

○8番（富岡喜芳） 返礼品について、お尋ねしますけれども、額によって違うと思えますけれども、今現在物産開発とか観光推進と言ってるけれども、どういうもの出してるんだっしか。

○委員長（秩父博樹） はい、課長。

○まちづくり課長（高橋正人） 返礼品につきましては、大まかには、お米、お酒、これからスタートしまして、その後、食品等を含め、また、ナガイ白衣からの白衣としての提供がございました。まずは、1万円以上からの寄付ということで、例えば、タベルスキーさんがやっている「ポールミート」のソーセージのセットでありますとか、ローズメイの化粧品関係、それから蜂蜜等の関係のもの、味どうらく等を含めたものが入っております。3万円以上では、お米やきりたんぼのセットでありますとか、お肉のセット、後はお酒をいろいろセットしまして、それに見合うセットの数とさせていただきます。3万円以上の寄付の段階からナガイ白衣が提供していただいているドクターコートでありますとか、そういうのが入ってきております。4万円以上では、お酒のセットがございました。5万円以上になりますと、お米やお肉のセット、それからドクターコートの価格の高いもの、そういったものが入っております。あと、10万円以上では、お米のセット、お肉のセット、化粧品のセットというようなかたち。30万円以上では、ローズメイのバラ美容セットといった化粧品のセット、それから出羽鶴のお酒のセットといったものがあります。あと、最終的には、50万円以上で前回皆様にご説明を申し上げました「大曲の花火おもてなしツアー」というものがございます。大まかにはそのような内容になってございます。

- 委員長（秩父博樹） ほかにございませんでしょうか。はい、橋村委員。
- 27番（橋村 誠） その中で、一番伸びたっていうが、予想外に伸びたものってある。
- 委員長（秩父博樹） はい、高橋課長。
- まちづくり課長（高橋正人） 返礼品の、各業者ごとに集計したものがあありますが、まずは、業者別に見ますと、秋田清酒さんが1番出ております。各価格帯に様々なお酒の種類やセットがありますが、トータルしますと、80件ほど出てございます。その次が、ナガイ白衣。これが、当初はナガイ白衣さんの方もそんなに出ることを予想していたんでなくて、目に留まれば良いというような気持ちだったんですが、実際70着出てございます。なかなか、寄付者の個人情報というのは得られないんですけども、やはりお医者さんという方々はおられるようでございまして、当初どうなんだろうというような話が前にもありましたけれども、実際70着出たということで、非常に喜ばしい結果ではあるなというふうに感じてございます。
- 委員長（秩父博樹） ほかにございませんでしょうか。はい、小山委員。
- 副委員長（小山緑郎） これ一般の寄付だと思うっすけれども、企業版も来てるもんだっしか。
- 委員長（秩父博樹） はい、五十嵐部長。
- 企画部長（五十嵐秀美） 企業版の方は、たまたま500歳野球に、事業の目的に入れてる話なんです。我々の方には無いんですけども、当初予定したよりも、年末に飛び込みでも入ってきてるという情報を得ておりますので、我々、企業版やる時に、500歳野球にやるというところで、申し出があった方は、500歳野球の時にある程度報告、パンフレットに入れた他にも年末に業者の方から提案あったということは伺っております。最終的な額は、教育委員会の方で、その事業費の方で、3月補正で多分入ってくると思いますので、財源として入ってくると思うので、多分当初の予定よりは多く入ってきてるかと思います。
- 委員長（秩父博樹） はい、小山委員。
- 副委員長（小山緑郎） 企業版はなんも返礼品どが、一切ねしけおんね。確かね。
- 委員長（秩父博樹） ほかにございませんでしょうか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（秩父博樹） 以上で、質疑を終結いたします。
- これより討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（秩父博樹） 討論なしと認めます。

それでは、お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（秩父博樹） ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（秩父博樹） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。

なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（秩父博樹） ご異議なしと認め、そのように決しました。

○委員長（秩父博樹） 次に、委員派遣の承認要求についてお諮りいたします。

2月6日から7日までの期間、所管する事項について行政視察を行うため、議長に対し、委員派遣の承認要求をいたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（秩父博樹） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

これを持ちまして、企画産業常任委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時34分 閉 会

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

企画産業常任委員会委員長